



最近の教育をめぐる話題二つ

桂川町教育委員会  
 教育長 穂坂 和義

教育をめぐる話題は、いつの時代も絶えることはありません。その中でも最近特に関心が高いものは、「いじめ防止対策推進法」が9月28日より施行されたことと、平成25年度の「全国学力・学習状況調査(学力テスト)」の結果が出されたことでしょうか。

前者のいじめ立法は、いじめ防止のために学校が取り組むべき措置を網羅的に捉え、それを法的義務として定めたものです。これを受けて今後、町や学校では、「町いじめ防止基本方針」や「学校いじめ防止基本方針」の策定など色々と対応すべきことが出てきました。しかし、全く新たな取り組みをするわけではなく、これまでやってきたことを整理・強化するような作業になりますので、県教育委員会の指導を受けながら、本町の実態に即したものを策定していきたいと考えています。

後者の学力テストですが、今年で7年目を迎えています。これまで小・中学校とも県の学力平均値は全国平均を下回っ

「桂川っ子」の文字は、桂川中学校美術部員がデザインしたものです。

ていました。しかし、今年をはじめて小学校が全国平均を上回りました。中学校は、差を縮めたものの残念ながら全国平均に届きませんでした。

福岡県教育委員会では、県内を福岡市と北九州市、さらに残りの地域を6地域に分けています。その中で私たちが属する筑豊地区の学力は、今年も最下位でした。

肝心の本町の学力実態ですが、筑豊地区では小・中学校とも上位でしたが、残念ながらもとの県の平均を下回っていました。ただ、小・中学校ともこれまでの学力向上の取り組みの成果が出てきたようで、その差は着実に縮まってきていますので、今後に期待したいと思っています。

それから、学力テスト時に併せて行われる「学習状況調査」についても学力向上を考えていく上で重要ですが、この件は次号でお知らせしたいと思います。



福岡県進路指導研究大会より

桂川中学校 校長 安永保之

9月27日に桂川中学校で行われた福岡県中学校進路指導(キャリア教育)研究大会は、県内より200人近くの教育関係者の来校があり、公開授業と今まで取組んできた教育実践の報告を行いました。

進路指導といえば、進学指導ととらえる人がいますが、今はキャリア教育という側面が強くなっています。「キャリア」とは、「人がたどる行路」という意味です。これは、近年、大学等の中途退学や卒業しても就職しないなど、若年者の離職率の増加やニート・フリーターの増加といった雇用問題が深刻化している状況からの対応でもあります。

今大会では、桂川小学校6年生と嘉穂総合高校2年生の1クラスが、共に中学校で公開授業を行いました。小・中・高校の連携した取組みと公開授業は、筑豊地区では初めての試みですが、学習意欲の向上にもつながっています。

今年の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」という項目では、平均が48.4%に対して桂川小学校は65.1%、「学校に行くのは楽しいですか」という項目では、平均より12.8%も高い結果が見られています。

これからも学校は、「家庭・地域・学校一体となった子どもの育成」に精一杯

取組んでまいりますので、宜しくお願い致します。

